

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
戦略的原子力共同研究プログラム
事後評価総合所見**

<p>研究課題名：原子力プラントの包括的安全性向上のための地震時クリフエッジ回避技術の開発 代表研究者（研究機関名）：高田 毅士（東京大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：牟田 仁（東京都市大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：西田 明美（日本原子力研究開発機構） 再委託先研究責任者（研究機関名）：藤田 聡（東京電機大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：皆川 佳祐（埼玉工業大学） 研究期間及び研究費：平成27年度～平成29年度（3年計画） 73百万円</p>					
項目	要 約				
1. 研究の概要	<p>原子力プラントの地盤－建屋－設備機器－安全系－人間システム全体系を各分野領域横断的に取り扱い、全体系および各部の要求性能を明確化した後、それに係るクリフエッジを特定・定量化し、これらを回避する技術を開発することを目的とし、以下の研究開発を行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">1) 地震時プラントの要求性能の分類と整理 2) 原子力プラントの地震時挙動とクリフエッジ回避技術の開発 3) 既存プラントの安全性向上のための実施案</p>				
2. 総合評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 10%;">A</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地震時の物理的及び知識起因のクリフエッジ回避に免震化が有効であるという成果が得られたことが評価できる。 ・安全性向上の評価に人間のファクターを取り入れたことは評価できる。広く「安全工学」への波及効果等を得るためには、今後、新たな提案の一つである「人間システム」の十分な取り込み等を進める必要がある。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p> </td> </tr> </table>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地震時の物理的及び知識起因のクリフエッジ回避に免震化が有効であるという成果が得られたことが評価できる。 ・安全性向上の評価に人間のファクターを取り入れたことは評価できる。広く「安全工学」への波及効果等を得るためには、今後、新たな提案の一つである「人間システム」の十分な取り込み等を進める必要がある。 	<p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地震時の物理的及び知識起因のクリフエッジ回避に免震化が有効であるという成果が得られたことが評価できる。 ・安全性向上の評価に人間のファクターを取り入れたことは評価できる。広く「安全工学」への波及効果等を得るためには、今後、新たな提案の一つである「人間システム」の十分な取り込み等を進める必要がある。 				
<p>S) 極めて優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 一部を除き、相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p>					